

後遺症理解し治療選択

病院の 実力

九州・山口編

今回の病院の実力は、前立腺がんを取り上げる。一覽表に治療実績を載せた。

がんが前立腺にとどまっていれば、手術も放射線治療も可能だ。低リスクの場合、ゆっくり進むことが多く、検査を受けながら経過観察を続ける「監視療法」が行われることもある。

前立腺がん

放射線治療では、照射強度をコントロールして正常な臓器への影響を減らす強度変調放射線治療が増えている。1回の線量を増やして治療回数を減らす治療法も効果を上げている。

体内から照射する治療では、放射性物質を密封したカプセルを埋め込む永久挿入密

封小線源療法と、前立腺内に針を入れて一時的に強い放射線をあてる高線量率組織内照射法がある。

手術と放射線の治療成績は同程度。前立腺は膀胱や尿道、直腸に近く、がん治療によって、尿漏れや性機能障害、出血などが起こる可能性がある。体や生活への影響をよく

機能の温存意識し手術

福岡大病院(福岡市城南区)は、2020年度にロボット支援手術を本格的に導入した。それ以降、手術数は増えており、昨年は導入前の3倍にまで増加。各地から医師が技術を学びに訪れるほか、担

当医が県内外で施術の指導をしている。



同病院は、手術支援ロボットの導入を5台所
有。腎泌尿器外科では、主に医学部の羽

理解し、治療に臨むことが大切だ。がんを進行させるホルモンの分泌を抑える薬物療法では、新規アンドロゲン受容体シグナル阻害薬が相次いで登場。転移がんへの有効性が認められ、初回から使われることもある。

特に術後の機能維持が重要になる。手術によって尿漏れが起きやすくなったり、男性機能を喪失したりする恐れがあるため、同病院では特に機能温存を意識して手術にあたる。

賀宣博主任教授(54)＝写真＝が執刀する。羽賀主任教授は、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会の理事に近く就任する予定で、泌尿器腹腔鏡技術認定制度審査委員も務めている。

手術では、根治性と機能温存の両立が求められる。前立腺がんは、他のがんに比べて5年生存率が高いことから、

手術では、根治性と機能温存の両立が求められる。前立腺がんは、他のがんに比べて5年生存率が高いことから、

全国的調査結果は20日の「安心的设计」面に掲載しました。

病院の実力「前立腺がん」 医療機関別2023年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	全手術 (件)	放射線治療 (件)	ホルモン療法 (人)	監視療法 (人)
山口県				
山口大	124	35	72	5
県立総合医療セ	22	159	15	5
周東総合	0	0	13	1
福岡県				
九州大	85	27	9	10
北九州市立医療セ	66	20	19	5
国・九州医療セ	63	18	54	15
産業医大	62	90	29	3
宗像水光会総合	52	0	20	2
古賀21	51	71	29	9
福岡大	49	31	40	2
福岡和白	31	30	9	3
小倉記念	30	10	30	10
国・九州がんセ	29	45	20	10
飯塚	27	27	47	1
福岡赤十字	26	6	—	—
大牟田市立	12	14	9	3
邦生会高山	5	0	—	11
北九州総合	3	4	10	30
新小倉	1	0	6	2
戸畑共立	0	112	4	3
高木	0	46	11	—
聖マリア	0	7	18	0
済生会福岡総合	0	1	3	1
佐賀県				
佐賀大	40	2	12	0
好生館	29	—	—	—
唐津赤十字	0	15	8	1
長崎県				
長崎大	95	11	—	—
佐世保市総合医療セ	74	64	32	5
長崎原爆	32	46	20	12
国・長崎医療セ	15	27	—	0
熊本県				
済生会熊本	237	10	16	10
熊本大	34	38	24	2
大分県				
別府湾腎泌尿器	117	0	6	0
大分大	53	86	20	—
中津第一	35	0	—	106
恵愛会中村	8	0	0	9
大分赤十字	7	46	6	0
アルメイダ	0	3	0	11
宮崎県				
宮崎大	58	38	20	6
鹿児島県				
鹿児島市立	98	26	13	2
鹿児島大	58	15	—	—

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「一」は無回答または不明。